

令和7年(2025年)12月5日

保護者の皆様

札幌市立東月寒中学校

校長 林 康弘

令和7年度 全国学力・学習状況調査 の結果について

師走の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年4月に実施された3年生対象の全国学力・学習状況調査について、本校の学力調査の結果概要と課題や改善の方向、及び、学習習慣や生活習慣に関する生徒質問調査の結果概要がまとまりましたのでお知らせいたします。是非御一読いただき、今後のお子様の学習に役立てるように御配慮いただければ幸いです。

今年度の教科に関する調査は「国語」「数学」「理科」で、出題範囲は調査する学年の前学年までに含まれる学習事項が原則とされ、出題内容は以下の通りです。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

なお、本校の調査結果等の表記に関しましては、札幌市の考え方にはじめ、平均正答率などの数値結果を公表しないことを御了承ください。

本調査に関わるお問い合わせにつきましては、教頭高柳まで御絡をお願いいたします。

(担当:教頭 TEL853-1520)

【 教科に関する調査結果 ・ 国語 】

本校の結果概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【内容】</p> <p>□[知識及び技能]</p> <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」</p> <p>◇全国平均とほぼ同程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文脈に即して漢字を正しく使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味理解を伴った漢字指導の充実。
<p>□[思考力、判断力、表現力等]</p> <p>「話すこと・聞くこと」</p> <p>◎全国平均を上回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識した発表を行うために、自他の資料を比較したり、より良い表現について探究したりする相互評価活動の充実。
<p>「書くこと」</p> <p>▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを他者に伝え理解を得るために、適切な語句を用い、文章構成を工夫して記述する学習活動の充実。
<p>「読むこと」</p> <p>▽全校平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、構成や展開の工夫について考え、その効果について正しく説明する学習活動の充実。

<調査結果の表記について>

*「本校の結果概要」には、本校と全国の平均正答率の差について分析し、以下の通り表記しています。

- | | | |
|--------------------------|-------|----------------------------|
| + 3.1 ポイント以上の場合 | ····· | ◎「全国平均を上回っている」 |
| + 0.1 ~ + 3.0 ポイントの範囲の場合 | ····· | ○「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」 |
| + 0.1 ~ - 0.1 ポイントの範囲の場合 | ····· | ◇「全国平均とほぼ同程度」 |
| - 0.1 ~ - 3.0 ポイントの範囲の場合 | ····· | ▽「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」 |
| - 3.1 ポイント以下の場合 | ····· | ▼「全国平均を下回っている」 |

*「今回の調査における課題」には、問題別の回答状況から、本校の平均正答率が低い問題や全国の平均正答率との差異が大きい問題などについて取り上げ、その内容を課題として表記しています。

【 教科に関する調査結果 ・ 数学 】

本校の結果概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「数と式」</p> <p>▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式を使って事柄を表したり、文字式を読み取って、その意味を数学的な表現を用いて説明したりする学習活動の充実。
<p>□「図形」</p> <p>▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形についての定義や定理を用いて、成り立つ事柄を見いだし、数学的に証明する学習活動の充実。
<p>□「関数」</p> <p>▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象における数と数の関係を数学的に解釈し、見出した関係性を活用して課題解決する探究活動の充実。
<p>□「データの活用」</p> <p>▽全国平均を下回っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相対度数の意味を理解していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの活用領域における用語について、意味理解を伴った知識として定着させる学習活動の充実。

<調査結果の表記について>

*「本校の結果概要」には、本校と全国の平均正答率の差について分析し、以下の通り表記しています。

- + 3.1 ポイント以上の場合 ◎「全国平均を上回っている」
- + 0.1 ~ + 3.0 ポイントの範囲の場合 ○「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」
- + 0.1 ~ - 0.1 ポイントの範囲の場合 ◇「全国平均とほぼ同程度」
- 0.1 ~ - 3.0 ポイントの範囲の場合 ▽「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」
- 3.1 ポイント以下の場合 ▼「全国平均を下回っている」

*「今回の調査における課題」には、問題別の回答状況から、本校の平均正答率が低い問題や全国の平均正答率との差異が大きい問題などについて取り上げ、その内容を課題として表記しています。

【 教科に関する調査結果 ・ 理科 】

今回の調査における課題	改善の方向
<ul style="list-style-type: none">・露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈すること。	<ul style="list-style-type: none">・地層を構成する堆積物の粒の大きさについて正しい知識を身に付けるとともに、その知識を活用して各地層の成り立ちや性質について推察する探究活動の充実。
<ul style="list-style-type: none">・水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物が生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いていること。	<ul style="list-style-type: none">・生物が生命を維持する働きについて正しい知識を身に付け、具体例をあげて生物を分類したり、生物の生き方を推察したりする探究活動の充実。
<ul style="list-style-type: none">・仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場面の結果を予想すること。	<ul style="list-style-type: none">・電気回路についての正しい知識及び技能を身に付けるとともに、その知識及び技能を活用して仮説を立て、その仮説を立証するための実験方法と結果を予想する探究活動の充実。
<ul style="list-style-type: none">・元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いていること。	<ul style="list-style-type: none">・元素記号や化学式、化学反応式について、概念的な理解を伴った知識として定着させる学習活動の充実。

<調査結果の表記について>

- * 理科は、領域や内容のまとめごとの、本校と全国の平均正答率の比較データがないため、国語や数学の「本校の結果概要」のような表記は行いません。
- * 「今回の調査における課題」には、問題別の回答状況から、本校の平均正答率が低い問題や全国の平均正答率との差異が大きい問題などについて取り上げ、その内容を課題として表記しています。

【 生徒質問調査の結果について 】

全国学力・学習状況調査において実施された、学習習慣や生活習慣に関する「生徒質問調査」の本校の結果について、「全国平均と比較して差異の大きい項目」や「前年度までの本校の結果との比較（経年比較）から顕著な変化の見られる項目」などを抜粋し、「肯定的な回答が多い・増えている項目」と「肯定的な回答が少ない・減っている項目」「その他肯定的ととらえられる分析結果」に分けて、その概要をお伝えいたします。

<肯定的な回答が多い・増えている項目>

◎自己有用感についての質問項目

[具体的な質問項目（抜粋）]

- ・自分には良いところがあると思いますか。
- ・先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。

◎学校生活や友人関係、学習活動についての質問項目

[具体的な質問項目（抜粋）]

- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか。
- ・わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、活かしたりすることができると思いますか。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分がすべきことを決めて取り組んでいますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

◎地域貢献、社会貢献についての質問項目

[具体的な質問項目（抜粋）]

- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

<肯定的な回答が少ない・減っている項目>

※今年度の生徒の回答においては、全国平均と比較して肯定的な回答が大きく少ない項目や経年比較から肯定的な回答が顕著に減っている項目はありませんでした。昨年度、課題としてあげた「自分と違う意見について考えたり、粘り強く主体的に学習に取り組んだりすること」についての質問項目でも改善傾向が見られました。

<その他、肯定的ととらえられる分析結果>

- ◎「読書は好きですか。」の質問項目において、全国平均と比較して肯定的な回答が多い。
- ◎「ICT機器やインターネット等の活用」についての複数の質問項目において、肯定的な回答が多い。

以上、これらの分析結果をこれから の教育活動に生かしてまいります。今後とも保護者の皆様には御理解と御協力を願いいたします。